

# “お互い尊重しあう心”

## 12月4日から人権週間

人権の尊重は世界すべての人びとの共通の願いです。一二月四日から「人権週間」が始まり、「人権の共存—対話によって明るく住みよい社会をつくろう」、「部落差別をなくそう」、「婦人の地位を高めよう」を強調テーマとしてかかげています。この機会に一度人権の大切さを胸に刻み込み、お互いを尊重しあって、みんなが明るい毎日になりたいものです。

### ▲人権相談所▼

日常生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと考えたり、法律上どのようになるのかわからないために困った—という経験はありませんか。

たとえば、家庭内では嫁姑の問題、継子いじめをはじめ、年離れた親が息子に冷遇されたり、相続をめぐるついでごきなど。また、隣近所の問題では騒音や振動、悪臭などの公害あれこれ。そのほか借地借家についてのめもごと—など。

そのようなときは、いつでも気軽に法務局（秋市江向五五二の一、四二一〇四七八）か、人権擁護委員飯田利春（東大坊 四二一〇七八三）に相談してください。相談は無料で、相談内容については秘密を厳守します。

この人権擁護委員制度は、今年で創設三〇周年をむかえました。



### 各家庭に

### 簡易型火災

### 警報器の

### 設置を

火災を早い時期に自動的に感知して、ブザー等で知らせる便利な器具を、毎日火を使用する台所や老人の部屋などに設置しよう。購入される場合は、鑑定品を確かめて購入しましょう。



国の鑑定制度に合格した場合上の鑑定合格証票がついています。

### 後畑の 楽踊り



[12]



この楽踊りは、大畠に在る貴船恵比須神社の秋季例祭（一〇月一日）に奉納されており、東後畑、大畠、山角の三地区が交替で踊り継いでいる。今から二八〇年ぐらい前から、五穀豊稔、家内安全、家畜の疫病払い等を祈願する目的で続けられていたが、第二次大戦中一時途絶えていた。昭和三九年ごろ故藤岡秀信氏の肝煎で、この楽踊りを復活、保存会を結成し、後世に伝えようと、努力されている。

踊り手の様子は、大鼓を持ち鳥の羽を飾った頭をかぶり、背中に花と呼ぶ花輪をつけた胴取二人を中心に、団扇つかい、鉦たたき、笛、やり持ち等総勢四〇名余に及ぶ。例祭の当日は、当番の世話役の家から出発し、秋空になつかしい笛、鉦、大鼓の音をひびかせて神社に至り奉納される。今年には体育祭で披露される予定が中止となった。

### 産業祭でせり市▶

11月3日、体育祭は中止しましたが、産業祭、文化祭は、各種グループのご協力で、例年にもまして多彩な展示があり、農水産物の即売など盛んでした。

なかでも、売上金を福祉資金へという不用品せり市は、大変な人気で、わずか30分で売切れ、売上金70,741円はそっくり社会福祉協議会へ。ありがとうございました。



### ▲掛瀨漁港竣工

昭和45年度から工事に着手し漁業関係者から早期完成が望まれていた掛瀨漁港がこのたび9年の歳月をかけて完成し、過る11月20日竣工式が行われた。

この漁港は外郭施設（防波堤、導流堤）、船揚場、物揚場、泊地、輸送道路、用地等の施設からなり埋立総面積23,763㎡、港内15,500㎡の広さを持ち、総事業費3億1,265万円でのこのたび完成したものです。



### ◀町民マラソン大会

第2回目を迎えた町民マラソン大会が前月11日、人丸家畜市場から久富農免道折返し3km、5kmのコースで行われた。

今回は大変盛況で小学1年から77歳の老人まで、男女226名の参加者があり、自分の体力に合わせて各コースを力走り、各自に記録証が渡された。